



平成 23 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 飛 島 建 設 株 式 会 社  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 篠 部 正 博  
コ ー ド 番 号 1 8 0 5 東 証 第 一 部  
問 合 せ 先 広 報 室 長 松 尾 和 昌  
TEL 03-5214-8212

### 「中期 3 ヶ年計画(2011～2013 年度)」策定に関するお知らせ

当社は、「中期 3 ヶ年計画(2011～2013 年度)」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社は、本年 4 月より下記 3 点を基本方針とした「中期 3 ヶ年計画(2011～2013 年度)」を推進してまいります。

- ◇損益分岐点の改善による早期黒字化
- ◇分野・地域の選択と集中による事業再構築
- ◇強みを発揮する新たな取り組み

当社はこの計画の完遂に向けて、役職員一丸となって積極果敢に取り組んでいく所存でありますので、皆様におかれましては、ご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

以 上

# 中期3カ年計画 (2011～2013年度)

目次	
I. 中期計画(2011～2013年度)の骨子	1
II. 現中期計画の総括と課題	2
III. 構造改革 ①損益分岐点の改善	3
IV. 構造改革 ②基盤事業の強化	4
V. 主要経営数値	5
VI. 構造改革 ③強みを発揮する新たな取組み	6

2011年3月

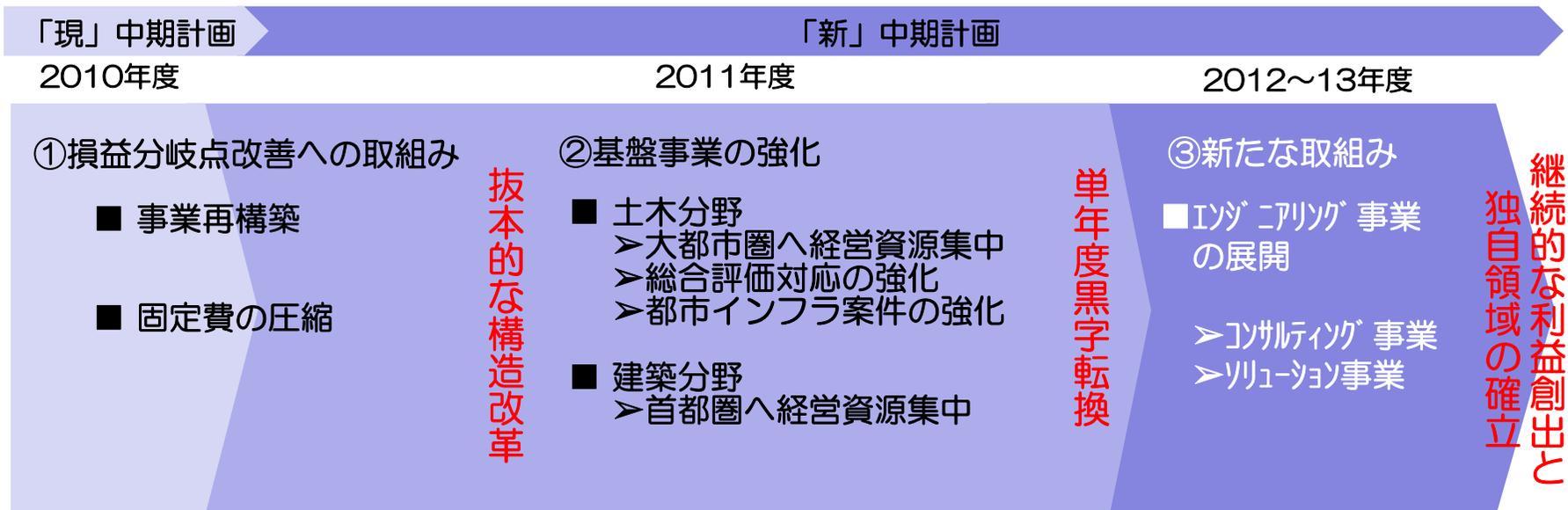
飛島建設 株式会社

# I.中期計画（2011～2013年度）の骨子

## 黒字化に向けた経営基盤の再構築と強みを発揮する新たな取組み

- ◆ 損益分岐点の改善による早期黒字化
- ◆ 分野・地域の選択集中による事業再構築
- ◆ 強みを発揮する新たな取組み

### ■構造改革のステップ



## Ⅱ.現 中期計画の総括と課題

想定を上回る市場収縮と価格競争が進行

2010年度 営業損失▲27億円、経常損失▲40億円

課題 1. 土木事業 総合評価対応力の更なる強化

課題 2. 建築事業 採算地域への経営資源の集中配分

課題 3. 土建共通 営業(情報収集力・分析力)の強化

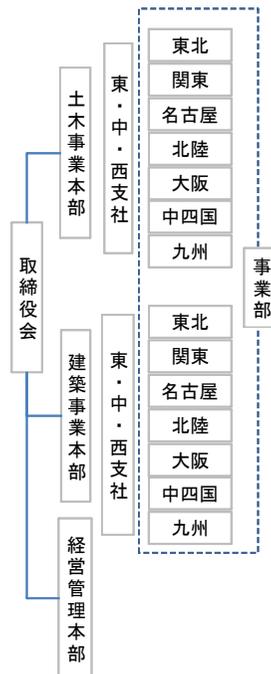
単年度黒転と強みを活かした事業構造改革

# Ⅲ.構造改革 ①損益分岐点の改善

- 人的資源の再構築
  - ・ 1440人体制⇒1060人体制へ

- 本社社屋移転

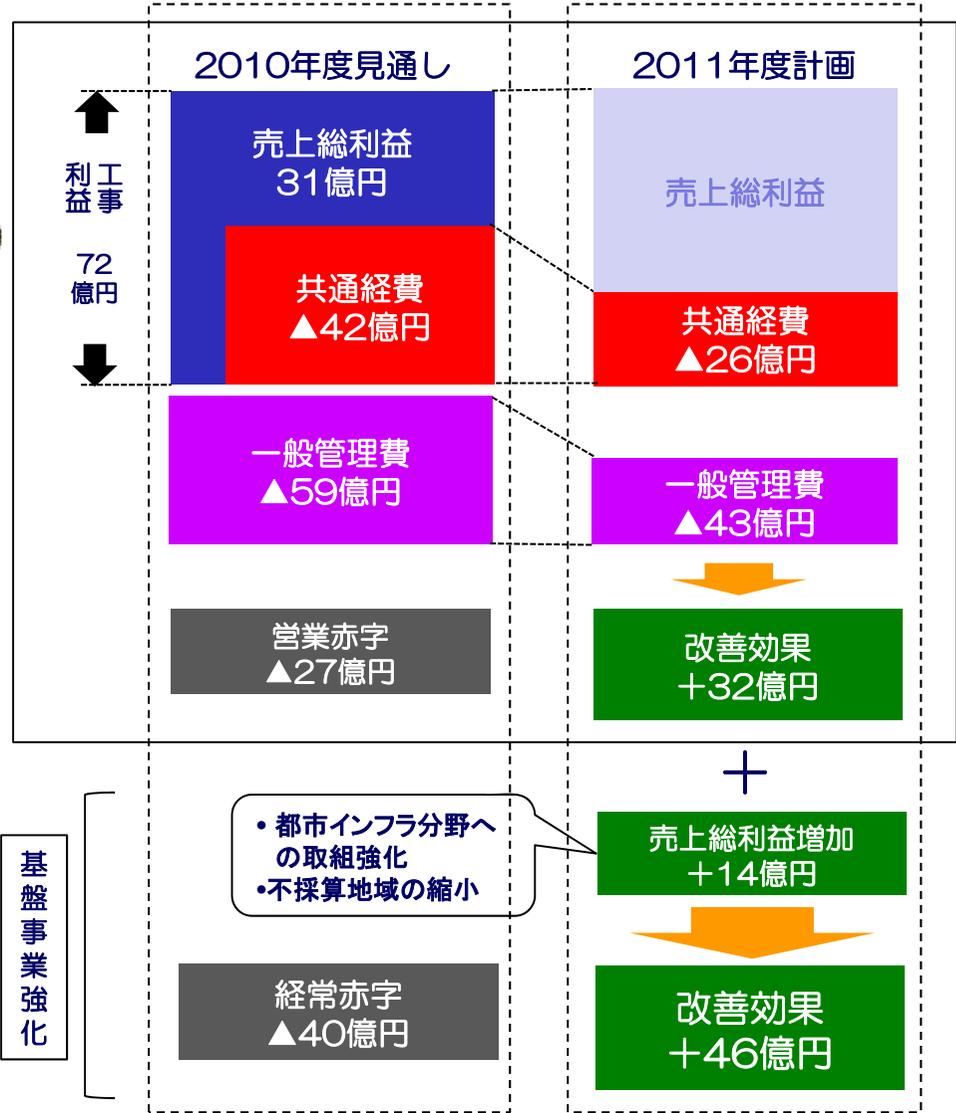
【旧組織体制】



【新組織体制】

(2011.5.1付)

- ・ 本部統合および重層組織解消
- ・ 首都圏への経営資源集中



※共通経費とは原価性を有する経費(間接部門による現場支援費用)をいう。

## IV. 構造改革 ②基盤事業の強化

### ■〔土木事業〕 案件量豊富な大都市圏への経営資源集中

- 開削、シールド等の都市インフラ分野強化
  - ・開削案件は当社技術評価高く、案件量も増加傾向にある
  - ・トンネルは中堅同業他社シェア維持、ダムは対応プロジェクトの絞込み
  - ・取組回避案件を明確にし業務効率を上げる
- 保有技術を活かした防災・環境・ストックへの提案強化
  - ・TDRショット工法、空洞充填工法、処分場技術等を活かして提案営業を強化
- 原価管理体制強化による逸失利益防止と利益創出
  - ・本社に原価管理チームを新設するとともに重点管理現場を設定する

### ■〔建築事業〕 首都圏建築へ特化し採算事業への転換を図る

- 首都圏中心に得意顧客先の拡大と深耕
  - ・案件量、顧客とも豊富な首都圏に特化し不採算地域は縮小する
- 協力会社との連携強化で生産体制とコスト競争力確保
  - ・首都圏特化で業量を確保し継続的また集中的購買により、協力業者との連携を強化する

### ■〔海外工事〕ブルネイ・パキスタンの2カ国限定から周辺国へ事業領域拡大

- ・周辺国：インドネシア、東チモール etc
  - ⇒政府/ODA案件、在外公館案件、日系企業案件

# V. 主要経営数値

## ■主要業績目標値（単体）

		2010年度 見通し	
受注高	土木	500	
	建築	615	
	開発	16	
	計	1,131	
完工高	土木	661	
	建築	548	
	開発	16	
	計	1,225	
完工利益	土木	21	3.2%
	建築	9	1.6%
	開発	1	
	計	31	2.5%
一般管理費	58	4.7%	
営業利益	△ 27	-2.2%	
経常利益	△ 40	-3.3%	
当期利益	△ 68	-5.6%	

構造改革効果

(億円)

	2011年度	2012年度	2013年度
受注高	500	500	500
建築	400	400	400
開発	12	8	9
計	912	908	909
完工高	550	500	520
建築	510	440	410
開発	12	8	9
計	1,072	948	939
完工利益	38 6.9%	35 7.0%	36 6.9%
建築	22 4.3%	22 5.0%	24 5.9%
開発	0.9	1.4	2.0
計	61 5.7%	58 6.2%	62 6.6%
一般管理費	43 4.0%	40 4.2%	42 4.5%
営業利益	18 1.7%	18 1.9%	20 2.1%
経常利益	7 0.7%	7 0.7%	8 0.9%
当期利益	5 0.5%	5 0.5%	6 0.6%

※2012年度以降はローリング  
 ※新たな取組みによる収益は見込んでいない

# VI.構造改革 ③強みを発揮する新たな取組み

## ■ エンジニアリング事業の展開

- 都市インフラ・防災関連のコンサルティング事業
- 環境関連のソリューション事業

